

平成16年前半における土砂災害の発生状況(平成16年5月31日現在)

本年前半の本格的な梅雨入り前に発生した融雪等による土砂災害の状況を取りまとめたので報告する。

本年の1月から5月の累計土砂災害発生件数は117件である。過去5年間の1月から5月の累計災害発生件数の平均は120件であり、同程度の発生件数となっている。

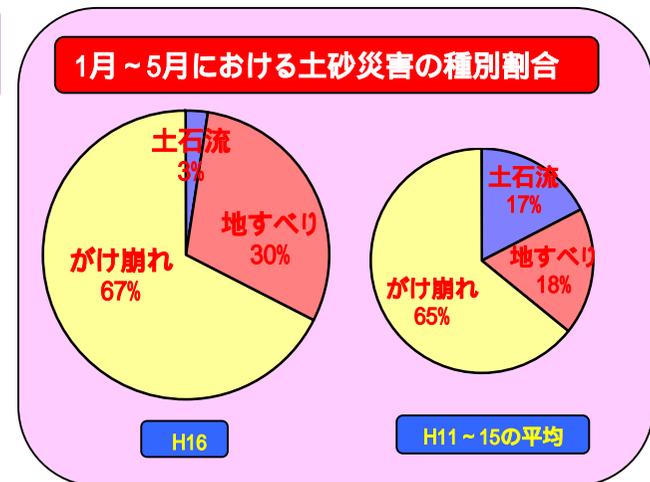
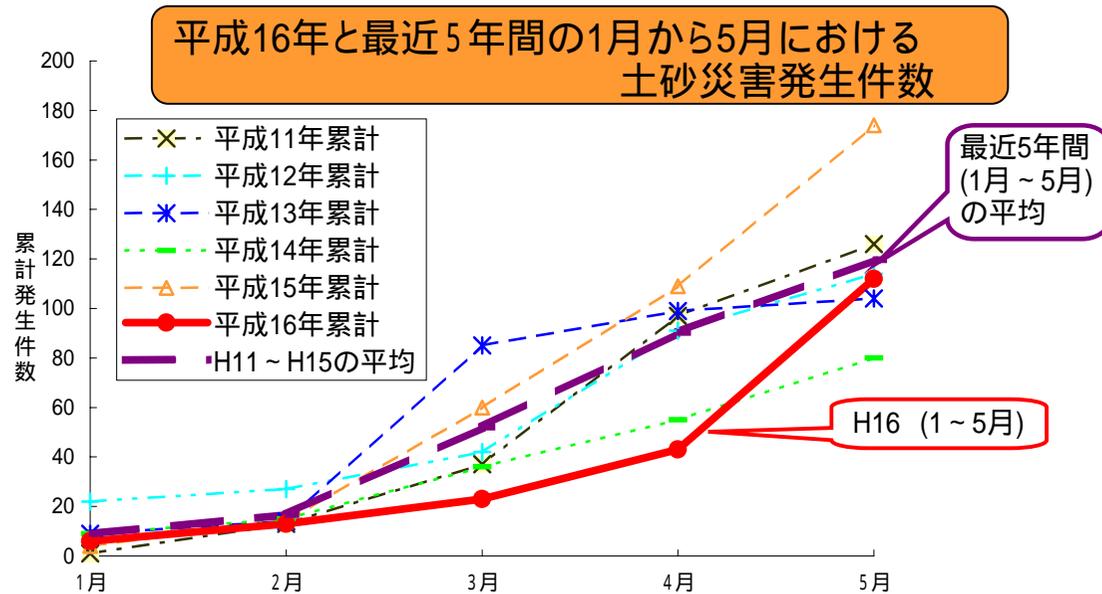
本年発生した土砂災害の種別割合を見ると、地すべりの発生割合が高く、土石流が少なくなっている。

本年の月別土砂災害発生件数を見ると、1月から4月までの土砂災害発生件数は少なかったが、活発な前線活動による降雨により、5月の土砂災害発生件数が多くなった。

本年の1月から5月に発生した土砂災害による被害は、死者1名、負傷者2名、家屋の一部損壊32件となっている。

また、確認している範囲では4月26日に宮城県柴田郡村田町で発生した地すべりにより、現在も12世帯38名に対し避難指示継続中である。

今後、本格的な梅雨期を迎えるにあたって、土砂災害防止月間、がけ崩れ防災週間等を通じ、土砂災害危険箇所の周知や再点検等により、防災体制に万全を期していくこととしている。



	月別土砂災害発生件数					累計 (1月～5月)	年間累計 (1月～12月)
	1月	2月	3月	4月	5月		
平成11年	1	12	24	60	29	126	1,501
平成12年	22	5	15	49	23	114	608
平成13年	9	5	71	14	5	104	509
平成14年	9	6	21	19	25	80	539
平成15年	4	10	49	46	65	174	897
H11～H15の平均	9	8	36	38	29	120	811
平成16年	6	7	10	20	74	117	-

参考
H16年発生した土石流・地すべり・がけ崩れ以外の災害
・山林火災 16件
・雪崩 12件